

プログラムノート

竹野相撲甚句ファンファーレゲエの大冒険

竹野相撲甚句は兵庫県豊岡市竹野に伝わる芸能です。大阪と北海道を日本海回りで結んだ船「北前船」によって秋田県からやって来ました。相撲にまつわる様々なことに耳を傾け新しい音楽をつくる作曲家の集まり「日本相撲間芸術作曲家協議会」(JACSHA)は、竹野の神社での奉納相撲で披露されていたこの相撲甚句を調べて、そこからJACSHAの作曲家の一人である鶴見幸代さんが「竹野相撲甚句ファンファーレゲエ」を作曲。今回の子どもコンサートへ向けて、それをオーケストラと合唱のために発展させたのがこの曲です。船にのって伝わってきたからか、漁師によって歌い継がれてきたからか、波に浮かんでいるような不思議なリズムの感覚がカリブ海の国、ジャマイカの音楽「レゲエ」のようでもあり、長く伸ばす音と細かく動く音の組み合わせが式典の始まりを告げる「ファンファーレ」のようにも聞こえます。海と夏をテーマにしたこのコンサートにぴったりの作品です。

海はひろいな
おおきいな



©KAMIJO Mika/Able Art Company

公演をお楽しみいただくために

この公演は、普段のクラシックコンサートに比べリラックスした環境で、誰でも音楽を楽しむことができるよう、以下のような工夫をします。



客席で動いたり音がでてもいい



公演途中も入退場や休憩ができる



照明が完全に暗くならない

2022 7/23 (土) 14:00開演
神戸文化ホール 大ホール

【主催】(公財)神戸市民文化振興財団

【協力】城崎国際アートセンター(豊岡市)、日本相撲間芸術作曲家協議会(JACSHA)

【助成】(一財)地域創造

文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人 日本芸術文化振興会



文部科学省